

2020年2月10日  
株式会社日立製作所  
Hitachi Asia (Vietnam) Co, Ltd.  
VietCredit Finance Company

**日立とベトナム金融機関 VietCredit が、  
AI を活用した新たな金融サービスの提供に向けた実証を開始**  
タブレット型自動ローン契約サービスと AI によるローン審査の導入に向け、効果を検証



ローンチセレモニーの様子

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)、日立のベトナム社会主義共和国(以下、ベトナム)の現地法人である Hitachi Asia (Vietnam) Co, Ltd.(Managing Director:須藤 一徳/以下、日立アジア(ベトナム)社)、およびベトナムの消費者金融機関である VietCredit Finance Company (本社:ベトナム・ホーチミン市、CEO:Ho Minh Tam(ホー・ミン・タム)/以下、ベトクレジット)の3社は、このたび、AI などデジタル技術を活用した新たな金融サービスの提供に向けた実証実験(以下、本実証)を開始します。

具体的には、ベトクレジットの一部店舗に汎用のタブレット端末を活用した自動契約システムを導入し、手軽に個人ローンの申込み受付・契約を可能にするサービスの実証と、稀な事象の発生を予測できる日立の人工知能「Hitachi AI Technology/Prediction of Rare Case(AT/PRC)」を使ってスコアリングを行い、ローン審査に活用する実証を行います。

本実証を通じて、ローンの申込み受付から契約締結までの期間短縮など、顧客の利便性を向上する新たな金融サービスの実現に向け、課題抽出や効果検証を行います。将来的には、自動契約サービスと AI によるローン審査サービスを組み合わせ、申込み受付から本人確認、審査、契約までの一連の事務を電子化するサービスの実現をめざします。

なお、タブレット端末から自動でローン契約を完結できるサービスの導入は、ベトナムにおいて初の試みとなります。ベトクレジットの店舗のほか、オフィスビルや工業団地などタブレット端末の設置場所を順次拡大し、より多くの人々が金融サービスを受けられる環境づくりをめざします。

近年、ベトナムでは急速な経済発展や中間所得層の拡大などにより、個人消費への意欲が高まっており、消費者金融市場の市場規模は著しく拡大しています。

市場拡大の一方で、ベトナムの金融機関では、窓口やバックエンドで行われる事務作業は紙での運用が一般的であるため、書類の不備による手戻りや待ち時間の増大など業務の効率面で課題が多いとされています。また、個人ローンの取引量が増えたことから、消費者保護を目的とし、無理な貸し出しを未然に防ぐ、より正確な与信審査が求められています。

こうした背景のもと、日立、日立アジア(ベトナム)社およびベトクレジットの3社は、ベトナムの金融サービスの高度化に向けて相互に協力することで合意し、本合意に基づき、AIを活用した自動契約サービスの検討を開始します。日立が日本国内で長年培った、個人ローンに関する自動契約システムの実績・ノウハウを活用し、セキュリティを担保した高信頼なサービスの実現をめざします。

自動契約サービスの実現により、手書き書類のデータ化や記載不備の確認といった、従来、紙を主体にしていた窓口業務の負荷軽減をはじめ、事務サービスの効率化・品質向上が期待できます。利用者は、タブレット端末の通話機能を用いてオペレーターのガイダンスに従い手軽に入力・申請できるため、手書きによる煩雑な書類作成が不要となるなど、利便性の向上・時間短縮も図ります。また、専用の自動契約機と異なり、持ち運び可能なタブレット端末の特性を生かし、店舗内での活用のみならず渉外員の訪問契約時に利用できるなど、さらなるチャネル拡大と機会創出に寄与します。

また、バックエンドのローン審査では、日本国内の金融機関における住宅ローン審査で実績<sup>\*1</sup>のある日立独自のAI「AT/PRC」を活用し、スコアリングを行います。データに基づく精緻な審査が可能となり、担当者の経験値への依存を軽減し、さらなる精度向上や審査時間の短縮など効率向上をめざします。

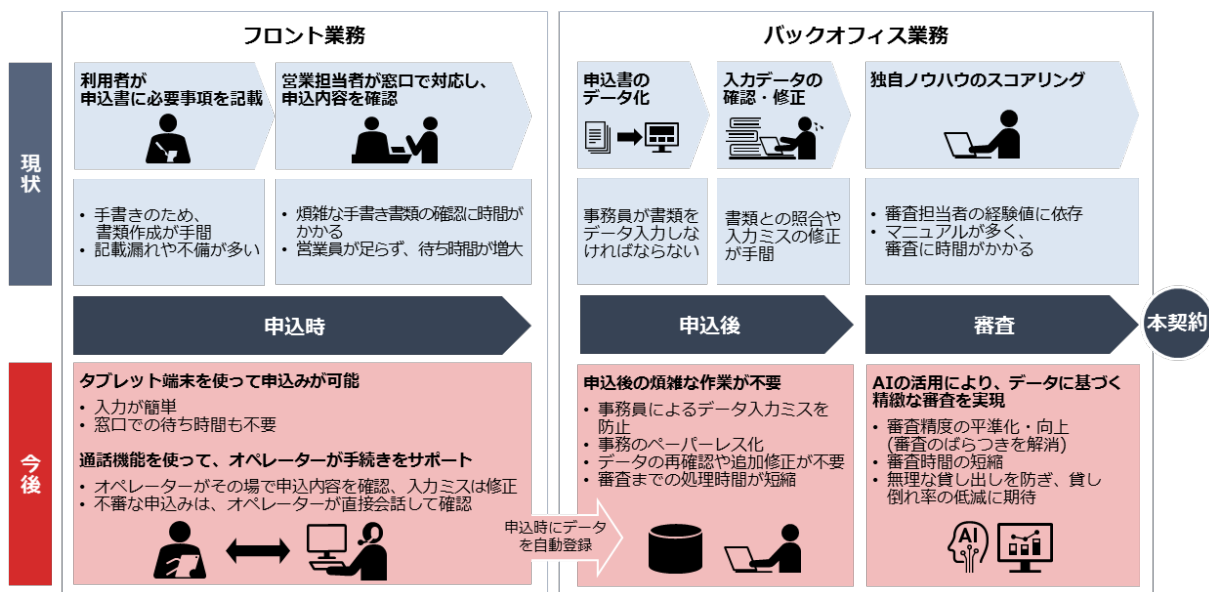
今後も、ベトクレジットは、先進の技術を継続的に取り入れ、消費者ニーズに応える便利で革新的な金融サービスをベトナム国内で展開していきます。

日立は、本実証で得られた成果をもとに、ローンシステムの高度化を実現する新たなソリューションの開発を進めるとともに、継続的に、PBI<sup>\*2</sup> 生体認証技術や音声認識技術など最先端のITを活用し、さらなる強化を図っていきます。また、ベトナムでのこれらの取り組みを、需要の見込まれる日本や東南アジアなどに拡げ、アジア市場における金融サービスの拡大と利便性の向上に寄与します。

\*1 日立製作所ニュースリリース(2019年1月29日)住信SBIネット銀行と日立、AI審査サービスを提供する合弁会社設立に向けた基本合意書を締結 <https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/01/0129.html>

\*2 PBI: Public Biometrics Infrastructure の略。静脈パターンなどの生体情報の「揺らぎ」を補正することで秘密鍵を抽出し、公開鍵暗号方式に基づく電子署名を生成する日立独自の技術。ICカードやパスワードに依存した鍵管理が不要となり、便利で低コストかつ確実な本人確認が可能な電子認証基盤が実現できる。

## ■ 実証の概要



## ■ 「Hitachi AI Technology/Prediction of Rare Case (AT/PRC)」について

「AT/PRC」は、Lumada ソリューションの一つで、発生頻度の低い事象を高精度に予測するほか、その根拠を提示する「説明可能な AI(Explainable AI)」です。正常なデータの学習に加え、偏ったデータや極端なデータに影響を受けないことを訓練する「シグナル&ノイズに基づく学習」と、予測根拠を定量的に提示するための「影響度算出技術」を特徴としています。稀な事象の予測や予測根拠の説明が求められる業務に適していることから、株式の不正取引審査や新規取引顧客の評価、信用度調査など、企業が取り組むさまざまなリスク管理業務での適用が期待できます。

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/bigdata/service/atprc/>

## ■ 日立の金融ソリューションに関する Web サイト

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/finance/>

## ■ VietCredit について

ベトクレジットは、ベトナム国営のセメント会社 Vietnam Cement Industry Corporation(ベトナムセメント総公社)を母体とし、ベトナム金融業界で 10 年以上の実績がある Cement Joint Stock Finance Company から 2018 年 6 月に社名変更して事業免許を取得した新興の消費者金融機関です。創設者で社長である Ho Minh Tam 氏が、日本の消費者金融機関での勤務経験をもとに、日本での業務ノウハウや先進技術を積極的に取り入れ、ベトナム国内で革新的な金融サービスの提供を図っています。

現在、ベトナム国内 38 省全 80 店舗を展開し、営業を中心とした 1,300 名以上の従業員を擁するなど、拠点・営業ネットワークを急速に拡大し、ベトナム国内で急成長を遂げています。

#### ■日立製作所について

日立は、OT(Operational Technology)、IT(Information Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2018年度の連結売上収益は9兆4,806億円、2019年3月末時点の連結従業員数は約296,000人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、ITの5分野でLumadaを活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の3つの価値向上に貢献します。詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp>)をご覧ください。

#### ■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融システム営業統括本部 [担当:高島、松浦]  
〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号  
お問い合わせフォーム:<https://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---